

1. 本市の平和教育・平和事業の状況

○学校教育

- ・小学校：6年生の社会科で日本国憲法・平和主義について学ぶ。
※過去の学習事例：地元の体験者から戦時中の話やシベリア抑留の話聞く。(6年生社会科)
酒田で空爆があったことなどを学習。(6年生総合学習)
- ・中学校：2年生の歴史で世界大戦～現在について学ぶ。修学旅行で広島や沖縄に行く学校もある。
※広島への修学旅行 (R5年度 東部中学校の例)
【ねらい】①唯一原爆が落とされた国に生まれた人間として、原爆を知ってほしい。
②これからの時代を生きる人として、グローバルな視点で日本と世界の平和を考えさせたい。
＜事前学習＞庄内の戦争体験の話聞く(酒田市資料館より講師)→2年時冬
＜現地＞広島の高中生から原爆資料館等を案内してもらい、子ども同士で平和を一緒に考える。
＜事後学習＞調べてきたことを、再度、広島の高中生と交流する場を持ちながらまとめていく。
学んだことで、自分はどう考え行動していくかを考えさせる。

○酒田市

「酒田市平和都市宣言」H7.6.21 議決、H20.3.25 新酒田市として議決し継承、「平和首長会議」に加盟 (H21.10) 「黙とう」(毎年8/6、8/9、8/15に市役所、支所、市施設にて) 原爆死没者・戦没者の追悼と世界平和祈念 「平和の折り鶴」市民から集まった折り鶴を広島市平和記念公園、長崎市原爆資料館へ奉納
「広島の被爆樹木二世アオギリ」H27.6.30(戦後70年)広島市から贈られた苗木を土門拳記念館近くに植樹
※過去の事業 H27 平和推進事業：「手と手をつなごう平和のつどい」映画上映、トークライブ
H27 資料館企画展：戦後70年に合わせた戦時下の高校生の写真等展示
H30 「少年の翼」交流事業：沖縄県今帰仁村との小学生の交流(派遣と受入)を通し平和の大切さを学ぶ (H30:小学5、6年生32名が参加)

「広島の被爆樹木二世アオギリ」(飯森山)



酒田市平和都市宣言
先の大戦が終わって50年
この節目の年に
これまでの戦争で犠牲になった
多くの人々に対して
わたしたちは心から誓う
国境や民族をこえて
手をたずさえ
このかけがえのない地球を
たいせつに守り
子どもたちに引き継いでいくことを
わたしたち酒田市民は
恒久平和を願う
ここに平和都市を宣言する

- 酒田市社会福祉協議会 「酒田市戦没者追悼式典」参列者約150名 (R1)
- 酒田ユネスコ協会 「平和の鐘を鳴らそう」(R4 新規事業) R4.7.19 海向寺にて実施
- 土門拳記念館(さかた文化財団)
・「被爆ピアノコンサート」土門拳の作品とともに開催。(R2～) R5は10月に開催予定。
広島市在住のピアノ調律師、矢川光則さんが被爆二世として、被爆ピアノを通した平和活動をしている。
・「江成常夫と土門拳 ヒロシマ・ナガサキ」(R4 酒田市美術館との共同企画展)
- 生涯学習施設「里仁館」 郷土学講座 R5「庄内の戦争 体験者の証言」

課題

終戦から77年が経過し、戦争体験者から直接話を聞く機会や平和を考える機会が少ないことから、戦争や平和への意識の希薄化が懸念されている。

2. 他市の平和事業の状況

- 山形市「山形市平和都市宣言事業」
平和コンサート、街かど平和コンサート、平和劇場、原爆展、市立図書館(戦争と平和の資料展、市民講座)
「千年和鐘打鐘式」(毎年8/6、8/9、8/15)
戦没者の慰霊のため、核兵器廃絶と真の平和を祈念し原爆投下の日と終戦記念日に打鐘と黙とう
※千年和鐘は2000年に市民の平和への願いを新たな千年紀へ伝えていくために造られた山形鋳物
- 鶴岡市「平和の集い・資料展」
シベリア拘留体験者の話、講話、「東京大空襲・庄内の空襲」証言映像上映等 (R4)
資料展では、「鶴岡の戦争と平和を学ぶマップ」や人形等を展示 (R4)
- 米沢市「米沢市平和都市宣言事業」
平和学習会、沖縄・広島を訪問(中学生)
- 平泉町「平和の祈り」(7月に平泉の文化遺産を会場に開催)
小学生による合唱や世界平和へのメッセージの朗読等により平泉の平和理念を発信
- 新潟市「ヒロシマの日」(8/6)・「ナガサキの日」(8/9) 新潟県原爆被害者の会、新潟市職員労働組合と共催
毎年市役所に祭壇を設け、原爆犠牲者追悼式・平和祈念の集いを実施(黙とう、献花、パネル展等)
「「平和」と声に出して集まりましょう！」(8/6) 市民団体と共催で平和祈念イベント実施
「平和啓発パンフレット」戦時下の新潟市の写真、戦災地図、平和への思い・取組みを掲載
- 長岡市「長岡花火大会」(長岡空襲の始まった時刻(8/1午後10時30分)に白一色の尺玉3発を打ち上げ)
空襲犠牲者の慰霊、復興に尽力した先人への感謝、恒久平和への願いを込め、同時刻に花火の打ち上げと市内寺院で鐘を鳴らしている
- 広島市「核兵器廃絶を目指した取組みの推進」、「平和意識の醸成」、「被爆体験の継承・伝承」
※別紙「平和への取組み(2023年1月)」参照(広島市役所HPより)
- 長崎市「平和の灯」市内外問わずキャンドルを募集し9月に爆心地公園で点灯、「市民大行進」10月
「被爆50周年記念歌「千羽鶴」」毎月9日午前11時2分に防災行政無線で放送
「「平和の文化」事業認定制度」 認定例：サッカークラブ「V・ファーレン長崎」による平和祈念活動
「平和の新しい伝え方応援事業費補助金」時代に応じた平和の新しい伝え方を募集

3. 世界の情勢

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、多くの一般市民が犠牲になっており、また、核兵器使用の危機感が高まっている。他にも世界には紛争や内戦が今も続いている地域がある。

【平和について考える機会】

時期	学習機会の場	考えられる取組み	その他団体等
就学前	家庭		
小学生	学校	学校・学校教育課 (文化資料館(仮称)、土門拳記念館の活用(酒田市の戦時下、原爆を伝える))	
中学生	社会・歴史授業 総合学習 修学旅行 等		
高校生		社会 ボランティア 講座 等	
大学生	講義 等		
社会人		社会教育課・ミライニ(図書展示・特設コーナー設置) 総務課(講演会・上映会) 文化資料館(仮称)(資料展示)	さかた文化財団 土門拳記念館 酒田市美術館 里仁館 酒田市社会福祉協議会 酒田ユネスコ協会 等

個人での学習の機会